

# 薬害肝炎訴訟を

## 支援する会

イラストレーション／たけだけい ◆写真撮影／岡山卓生

### <東京ニュース>

薬害肝炎訴訟を支援する会・東京

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-24-2 長井ビル3階 オアシス法律事務所  
TEL : 03-5363-0138 / FAX : 03-5363-0139 / Mail : [kanenshien-tokyo@hotmail.co.jp](mailto:kanenshien-tokyo@hotmail.co.jp)



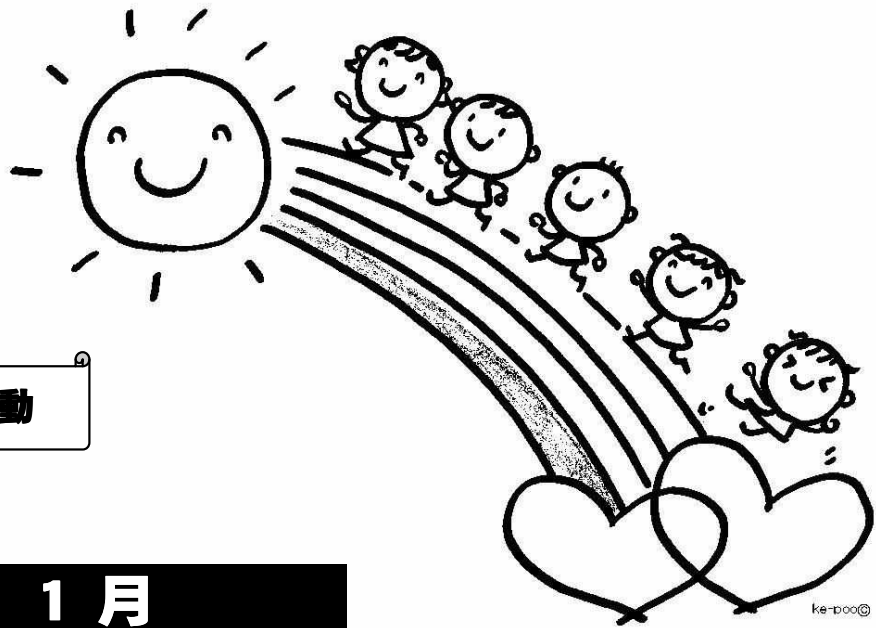
↑2月29日、東京高裁で国との和解調印前、報道陣の前で発言する原告ら。左から泉祐子さん、平井要さん、山本信子さん、浅倉美津子さん。

**東京地裁での和解は**

**3月28日(火) 10時から**

**東京地方裁判所 103号法廷 (公開)**

※18時半から20時半まで、  
星陵会館で(千代田区永田町2-16-2)で報告集会を行います。



**これまでの主な活動**

**2008 . 1 月**

**1 1 日** 感染被害者救済法成立

**1 5 日** 国と基本合意書締結

**2008 . 2 月**

**4 日** 大阪高裁と福岡高裁で和解成立

**1 8 日** 大阪地裁で和解成立

**2 0 日** 福岡地裁で和解成立

**2 9 日** 東京高裁で和解成立

**2008 . 3 月**

**8 日** 仙台高裁で和解成立

**1 1 日** 名古屋高裁で和解成立

**東京高裁・和解を受けて**

東京原告 平井要

長かった訴訟の戦いは和解という形で終結しました。

私は昨年判決では製剤の種類、投与時期共に認められませんでした。

とても納得ができず、やりきれない気持ちで帰宅したものです。

東京判決後、名古屋での勝訴、仙台での敗訴等ありましたが、弁護団、支援者の人達の協力と理解、マスコミを通じての世論の後押しがあり、福田首相の政治決断を決意させたものであると思います。

本当にありがとうございました。

正しい事が通じる世の中でなければいけません。

薬害肝炎を通じて考えてほしいものです。

国は国民の生命、財産を守る義務があります。

誤った時はキッチリ謝罪をし、その責任を果たすべきです。

残念ながら、まだ企業の謝罪はありません。

真相の究明、被害の救済、治療対策もインターフェロンに限られています。

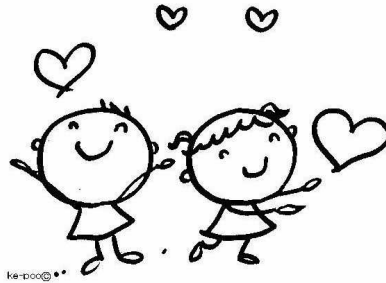
まだ解決しなければならない事は沢山ありますが、今は素直にうれしく思います。

(下の写真は東京高裁に入廷する原告団、弁護団)



# 原告さんにインタビューしました！

インタビュアー：  
中央大学法学部3年  
大和田野陽子



——和解成立おめでとうございます。和解成立を迎えて、今どんなお気持ちですか？

なんだか（和解したという）実感がわきません。今日の調印も、あっけなかったですし……。きっと、後でじわじわ実感すると思います。

——たった2時間前に和解したばかりですからね。和解できて安心した気持ちはありますか？

安心感がないわけではないです。しかし、病気が治ったわけではないので…治療は続きます。病気が治って初めて安心できるのではないのでしょうか。

——安心する一方で、不安感も大きいのですね。具体的には、どんなことが不安ですか？

治療体制が気になります。原告自身のことはもちろんですが、提訴できない方など、全国に肝炎患者は多くいます。今後の協議を通して、より多くの方が安心できる治療体制を訴えていきます。

——そうですね、まさに「350万人の願い」ですね。皆さんの訴訟自体は今日で終わりですが、その点についてはどんなお気持ちですか？もちろん治療の面では、まだこれからも続くと思いますが…。訴訟を振り返って印象に残っていることを教えてください。

「原告に加わる」と決めた時のことを思い出します。自分ではとても迷いました…。不安でしたから。でも、夫の後押しもあり、原告になることを決めました。

——やはりご家族の支えは大きいですね。和解の報告をして、ご家族の反応はどうでしたか？

喜んでくれました。和解が成立したことで、家族を少し安心させられたことは、私自身とても嬉しいことでした。

——先ほど「原告になることを迷った」とおっしゃっていましたが、今は原告になって良かったと思えますか？

良かったと思います。訴訟を通して、訴訟や病気を戦う仲間ができましたから。訴訟に加わるまでは、病気のことや悩みを話せる人が少なくて…。訴訟に加わってからは、原告同士でも励まし合うことができました。

でも、提訴したばかりの頃は、これからどうなるのだろうかと不安でしたよ。それに、裁判所へ行ったり、人前で話す機会も多かったり、慣れないことばかりで大変でした。

——原告さん同士の結束力があつたからこそ、和解をむかえることができたのだと思います。支援者も、原告さんのパワーに引っ張られましたよ。訴訟が終わったことで(原告さんご自身は)精神面、生活面では何が変わると思えますか？

これからは、もっと自分の治療のことを考えたいと思います。子供のためにも、ずっと元気でいたいですし。

——では最後に、読者の方へのメッセージをお願いします。

感謝の言葉に尽きます。ご支援ありがとうございました。皆さんの支援のお陰で、今日の日をむかえられたのだと思います。これからもご支援よろしくをお願いします。

(2月29日、和解後調印後の報告集会の様子＝右から原告の平井要さん、山本信子さん、浅倉美津子さん、原告13番の妹の泉祐子さん、東京弁護士事務局長の福地直樹弁護士)



## 和解期日の案内



**日時：3月28日（火）10時～**

**場所：東京地方裁判所 103号法廷**

**（東京メトロ霞ヶ関駅A1出口すぐ）**

**3月28日は原告・弁護士・支援者で和解を分かち合おう！**

**—すべての肝炎患者の救済を求めて—**

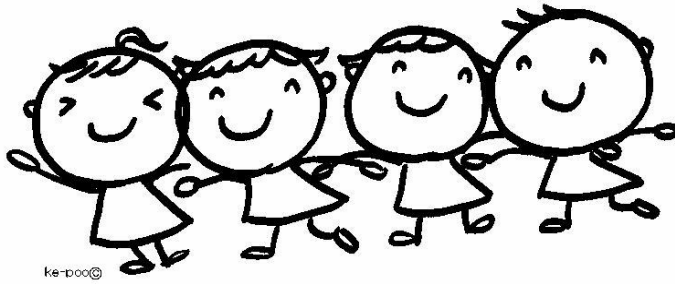
薬害肝炎訴訟を支援する会・東京 世話人：江川守利

2002年10月の提訴以来、裁判で闘ってきた原告さん、弁護士さん、大変お疲れ様でした。また、裁判傍聴や法廷外でいろいろな支援をしてくれた学生さん、多くの支援者の方、ご支援ご協力ありがとうございました。

3月28日の東京地裁の和解期日には、原告、弁護士、支援者みんなですべてで和解を分かち合しましょう！そして、この和解を力にして全ての肝炎患者の救済のため活動の旗揚げをしましょう！



またその後の18時半から20時半まで、星陵会館（千代田区永田町2-16-2）で、報告集会を行います。こちらもふるってご参加ください（詳細は8ページ）。



# すべての肝炎患者の救済に向けてがんばろう！

薬害肝炎訴訟を支援する会・東京 世話人会

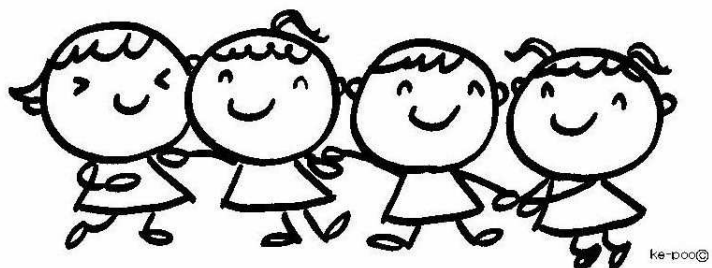
2月29日東京高裁において被告国との和解が成立しました。2002年10月の提訴以来、約5年間闘ってきた原告の皆さん、弁護団の皆さん、本当にお疲れ様でした。ご支援いただいた、支援する会のみなさんにも感謝いたします。

しかし、被告企業とはまだ和解できていません。また、薬害肝炎訴訟の目的であるウイルス性肝炎患者の救済、原因究明と再発防止策の準備はまさにこれからの課題です。

まず、この勝利和解で勝ち取ったものを原告団・弁護団・支援する会で確認することが大切です。そして、今回の和解で救済されない肝炎患者さんの救済を、患者会と一緒に頑張っていきましょう。

現在、全面解決署名と患者会の国会請願署名、2つの署名に取り組んでいます。

原告団・弁護団・支援する会と一緒に、薬害根絶とすべての肝炎患者の救済に向けて頑張りましょう！





## 今後の予定

薬害肝炎訴訟東京訴訟は2月29日に東京高裁で、3月28日に東京地裁で、和解が成立することになりました。

薬害肝炎訴訟は、2002年10月に提訴してからこれまで、多くの方々からご支援をいただきました。

遅ればせながら、ご支援いただいた皆様に、提訴から和解成立に至る活動とその経緯についてご報告させていただきたく、以下の日程にて薬害肝炎報告集会を開催いたします。

### ●東京地裁和解期日（公開）、報告集会 2008年3月28日（金）

東京地裁和解期日 10時～  
東京地方裁判所 103号法廷にて（公開）

報告集会：18:30～20:30  
星陵会館にて（千代田区永田町 2-16-2）

### 【報告集会会場・アクセス】

- 東京メトロ  
「永田町駅」下車6番出口より徒歩3分
- 「国会議事堂前駅」  
下車5番出口より徒歩5分

## 編集後記

提訴から5年半、ようやく国と和解の運びとなりました。東京だけでなく、各地で和解が成立し、原告さんの笑顔が見られることがなによりの喜びです。ただ、製薬会社との和解は進んでいません。忘れずに抗議の声を挙げていきましょう。

## 振り込み口座

### 【郵便振替口座】

口座番号：00160-0-665642

口座名義：薬害肝炎訴訟を支援する会・東京

### 【銀行口座】

三菱東京UFJ銀行 渋谷支店 普通貯金

口座番号：3284735

口座名義：薬害肝炎訴訟を支援する会・東京  
世話人 小松雅彦

入会およびその他当会に関するお問合せは、  
下記連絡先までご一報下さい。

薬害肝炎訴訟を支援する会・東京  
〒160-0022

東京都新宿区新宿 1-24-2

長井ビル3階オアシス法律事務所内

TEL03-5363-0138/FAX03-5363-0139

[kanenshien-tokyo@hotmail.co.jp](mailto:kanenshien-tokyo@hotmail.co.jp)